

E10 東九州自動車道 臼杵IC～津久見IC間の のり面災害に関する技術検討委員会 ～第3回技術検討委員会の結果について～

E10 東九州自動車道は、台風10号の大雨の影響により、8月29日(木)に切土のり面の崩落が発生し、臼杵インターチェンジ(IC)～津久見IC間で通行止めを継続しており、通行再開には期間を要する見込みです。

被災箇所の安全性の確認や復旧内容の検討のため、西日本高速道路株式会社は、有識者による「東九州自動車道 臼杵IC～津久見IC間のり面災害に関する技術検討委員会」を9月3日(火)に立ち上げ、検討を行っているところです。

10月12日(土)に開催した第3回技術検討委員会の結果について、以下のとおり、お知らせいたします。
この結果を踏まえ、今後、復旧作業にかかる工程を精査してまいります。

1. 日 時 令和6年10月12日(土) 15:10～16:10
2. 場 所 大分県臼杵市野田(災害復旧現場)
3. 結果概要 別紙1のとおり
4. 委 員 別紙2のとおり

のり面災害に関する技術検討委員会

第3回の結果概要

【審議内容】

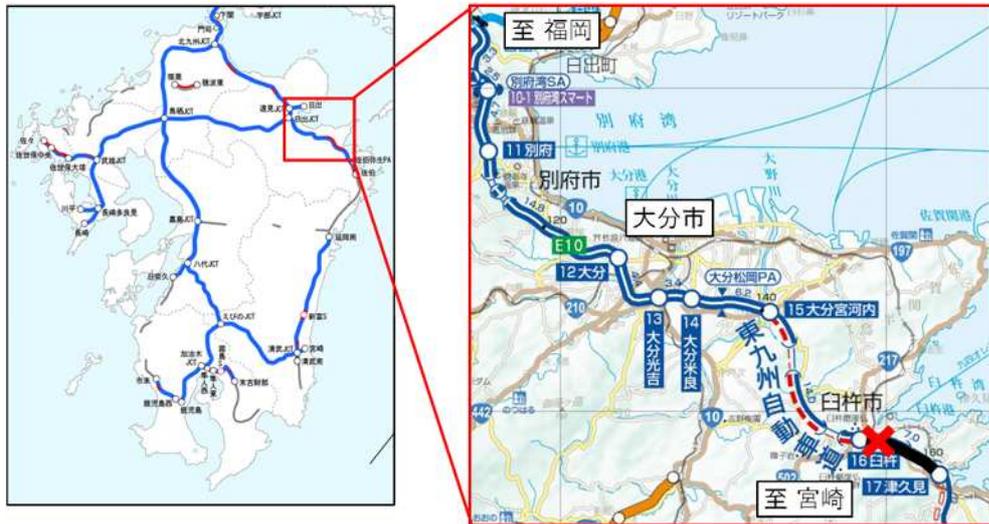
- 施工済みののり面の2段目の対策【コンクリート吹付及び切土補強土工(鉄筋挿入工)】が問題ないことを確認した。
- のり面1段目の対策については、1段目の地山の状況を確認し、2段目と同様のコンクリート吹付及び切土補強土工(鉄筋挿入工)とすることを確認した。
- 通行止め解除後ののり面監視に関するモニタリングの内容は、地中変位(3箇所)及び地表面変位(3箇所)について観測することを確認した。
- 通行止め解除後の降雨通行止め基準については、のり面補強を行っているものの、のり面監視を必要とすることから、当面の間は被災前の基準である連続雨量 210mm、組合せ雨量：連続150mm・時間 30mm とすることを確認した。

以上

E10 東九州自動車道 臼杵 IC～津久見 IC 間 切土のり面の崩落状況

E10 東九州自動車道

臼杵 IC～津久見 IC 間 切土のり面の崩落



— : 通行止め区間
 X : 被災箇所

【災害復旧状況写真(現時点)】



【第3回 技術検討委員会 開催状況】



東九州自動車道 臼杵IC～津久見IC間のり面災害に関する技術検討委員会

笠間 清伸 九州大学大学院 工学研究院 教授

工藤 宗治 大分工業高等専門学校 都市・環境工学科 准教授

○ 三谷 泰浩 九州大学大学院 工学研究院 教授

三保木 悦幸 国土交通省 九州地方整備局 道路部長

(○ 委員長)

(50音順、敬称略)